《2022 年 3 月 3 日》

世界的すきま発想。
日本化薬

LE システム株式会社への出資のお知らせ
～「環境・エネルギー」分野に貢献する次世代電池関連材料 研究・開発の取り組み～

日本化薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：涌元 厚宏、以下「日本化薬」）は、新製品･新事業を創出するための研究･開発の取り組みの一環として、レドックスフロー電池※1（以下「RFB」）用電解液の開発・製造販売を行う LE システム株式会社（本社：福岡県久留米市、代表取締役：佐藤 純一、以下「LE システム」）に出資いたしました。

《出資の背景と目的》
日本化薬は、新製品・新事業創出の方針として、「モビリティ」「環境・エネルギー」「エレクトロニクス」「ライフサイエンス」の重点 4 分野における将来の課題解決を目指し、研究・開発を進めています。また、そのために既存の事業領域で保有していない要素技術は、オープンイノベーションによって積極的に導入していく考えです。
「環境・エネルギー」分野においては、化学メーカーとしての知見を活かして、従来よりもエネルギー密度が高く、小型化・高寿命化や一層の低コスト化・高い安全性などが期待される次世代電池の実現へ貢献する取り組みを進めています。

LE システムは、特徴的なバナジウム回収技術によって、低コストかつ高品質な RFB 用バナジウム電解液の開発・製造販売を行っています。また、RFB に関する試験装置、高度な評価技術やシステムに関する多くの知見を有しています。次世代電池の開発プロセスにおいては、特性や性能の評価、材料のスクリーニングなど、これまでの知見を活かした幅広い範囲での活躍が期待されます。

一方、日本化薬は、エポキシ樹脂や紫外線硬化型樹脂、インクジェットプリンタや染料系偏光板に使われる色素※2 など、様々な分野の製品に要求される特性に合わせて、高い機能を発現する材料の設計・合成を得意としています。電池は基本的に化学反応で動作するものであり、次世代電池においても高機能材料は根幹に関わる重要な役割を占めることから、保有する基盤技術を最大限に活用し取り組みを進めています。

日本化薬は、今回の出資を通じて両社の強みを融合させて、2022 年度からの新中期事業計画において次世代電池の研究・開発を精力的に推進し、「環境・エネルギー」分野における新製品・新事業の創出を目指してまいります。

以上

※1 レドックスフロー電池は、電解液に含まれるイオンの酸化還元反応を利用した蓄電池です。長寿命であり、発火の危険が無く安全性が高いなどの特徴から、再生エネルギー用蓄電池等の用途で注目されています。
※2 いずれも機能化学品事業の製品です。

[本件に対するお問い合せ先]
日本化薬株式会社　広報 IR 部
TEL：03-6731-5237